

【令和元年度 食育に関する県民の意識調査結果】

1. 調査目的

県民の食事の状況等を把握し、県が実施する食育の施策に反映する。

2. 調査時期

令和元年 11月25日～12月6日

3. 調査対象

ながさきWEB県政アンケート全モニター 338名

4. 回答状況

回答者 286名（回答率 84.6%）

5. 調査担当課

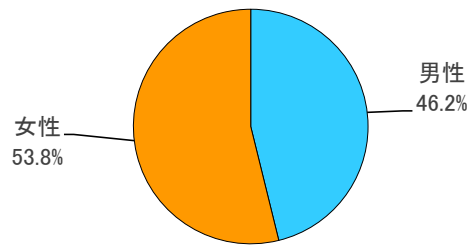
県民生活部 食品安全・消費生活課

※端数処理のため、構成比が100%にならない場合があります。

《回答者属性》

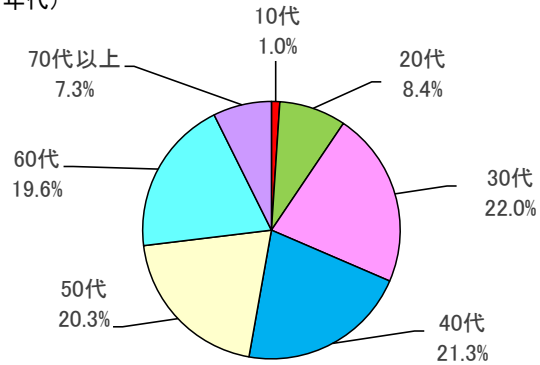
性別	人数	構成比
男性	132	46.2 %
女性	154	53.8 %
計	286	100.0 %

(回答者属性)



年代	人数	構成比
10代	3	1.0 %
20代	24	8.4 %
30代	63	22.0 %
40代	61	21.3 %
50代	58	20.3 %
60代	56	19.6 %
70代以上	21	7.3 %
計	286	100.0 %

(回答者年代)



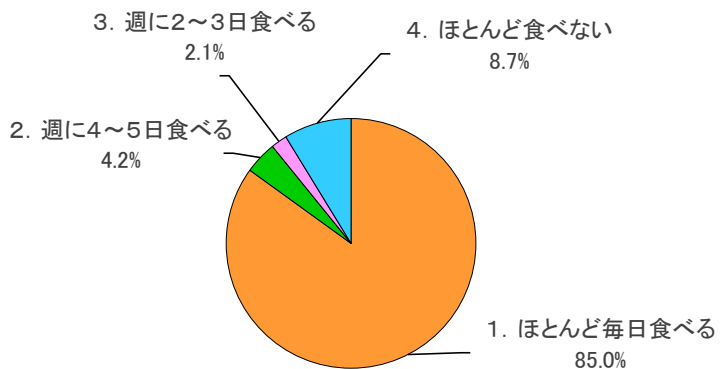
《調査結果》

【「食育」に関する関心度と取組状況】

Q1 あなたのふだんの朝食を食べる頻度について、あてはまるものを1つ選んでください。

回答	回答者数	構成比
1. ほとんど毎日食べる	243	85.0 %
2. 週に4～5日食べる	12	4.2 %
3. 週に2～3日食べる	6	2.1 %
4. ほとんど食べない	25	8.7 %
計	286	100.0 %

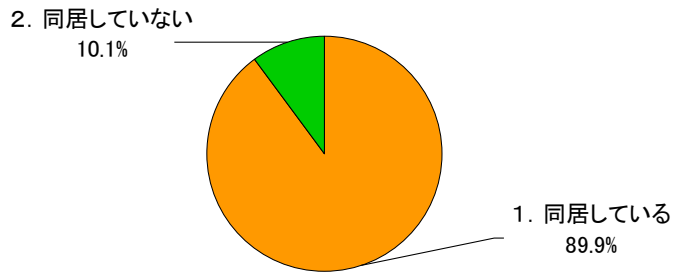
(朝食を食べる頻度)



Q2 あなたは家族と同居していますか。

回答	回答者数	構成比
1. 同居している	257	89.9 %
2. 同居していない	29	10.1 %
計	286	100.0 %

(住居の状況)



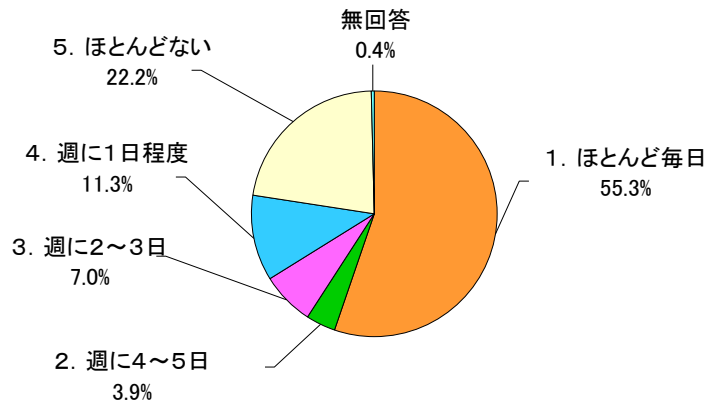
Q3 <家族と同居している方にお尋ねします。>

朝食を家族と一緒に食べることはどれくらいありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

回答	回答者数	構成比
1. ほとんど毎日	142	55.3 %
2. 週に4~5日	10	3.9 %
3. 週に2~3日	18	7.0 %
4. 週に1日程度	29	11.3 %
5. ほとんどない	57	22.2 %
無回答	1	0.4 %
計	257	100.0 %

回答対象者 257人

(朝食時の家族との共食)



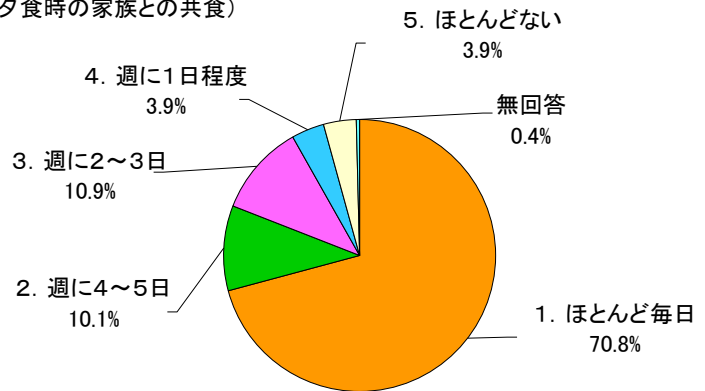
Q4 <家族と同居している方にお尋ねします。>

夕食を家族と一緒に食べることはどれくらいありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

回答	回答者数	構成比
1. ほとんど毎日	182	70.8 %
2. 週に4~5日	26	10.1 %
3. 週に2~3日	28	10.9 %
4. 週に1日程度	10	3.9 %
5. ほとんどない	10	3.9 %
無回答	1	0.4 %
計	257	100.0 %

回答対象者 257人

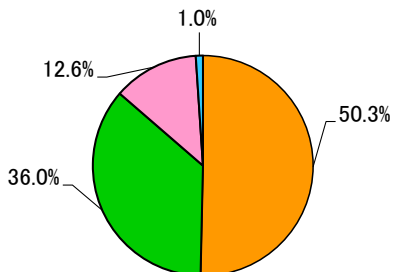
(夕食時の家族との共食)



Q5 あなたのふだんの野菜(生、調理したもの、ジュースなど形態は問わない)の摂取に対する考えについて、もっとも近いものを1つ選んでください。

回答	回答者数	構成比
1. 食事の時は野菜を食べるように心がけ、だいたいいつも野菜を食べている	144	50.3 %
2. 食事の時は野菜を食べるように心がけているが、食べられない時もある	103	36.0 %
3. 野菜があれば食べるが、野菜がなくても気にはならない	36	12.6 %
4. 野菜を食べようとは、あまり思わない	3	1.0 %
計	286	100.0 %

(野菜摂取に対する考え)



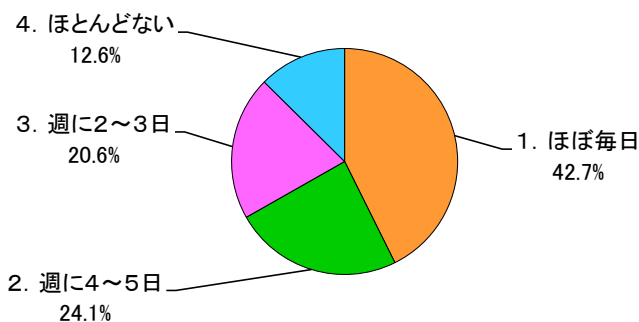
- 1. 食事の時は野菜を食べるように心がけ、だいたいいつも野菜を食べている
- 2. 食事の時は野菜を食べるように心がけているが、食べられない時もある
- 3. 野菜があれば食べるが、野菜がなくても気にはならない
- 4. 野菜を食べようとは、あまり思わない

Q6 主食(ごはん、パン、めんなど)・主菜(肉・魚・卵・大豆製品などを使った料理)・副菜(野菜・きのこ・いも・海藻などを使った料理)を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

「主食」とは、米、パン、めん類などの穀類で、主として糖質エネルギーの供給源となるものです。「主菜」とは、魚や肉、卵、大豆製品などを使った副食の中心となる料理で、主として良質たんぱく質や脂肪の供給源となるものです。「副菜」とは、野菜などを使った料理で、主食と主菜に不足するビタミン、ミネラル、食物繊維などを補う重要な役割を果たしています。

回答	回答者数	構成比
1. ほぼ毎日	122	42.7 %
2. 週に4~5日	69	24.1 %
3. 週に2~3日	59	20.6 %
4. ほとんどない	36	12.6 %
計	286	100.0 %

(主食・主菜・副菜のそろった食事をする頻度)



Q7 食について、どのようなことに興味がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

回答	回答数	割合※
1. 栄養バランスのよい食事例	220	76.9 %
2. 料理のレシピや技術	117	40.9 %
3. 食品の安全に関する事	161	56.3 %
4. 健康食品	56	19.6 %
5. 食事のマナーや挨拶	68	23.8 %
6. 地域の特産食材や郷土料理	109	38.1 %
7. 食料自給率の低下	53	18.5 %
8. 食品廃棄物の増加	94	32.9 %
9. 特に関心はない	16	5.6 %
10. その他	7	2.4 %

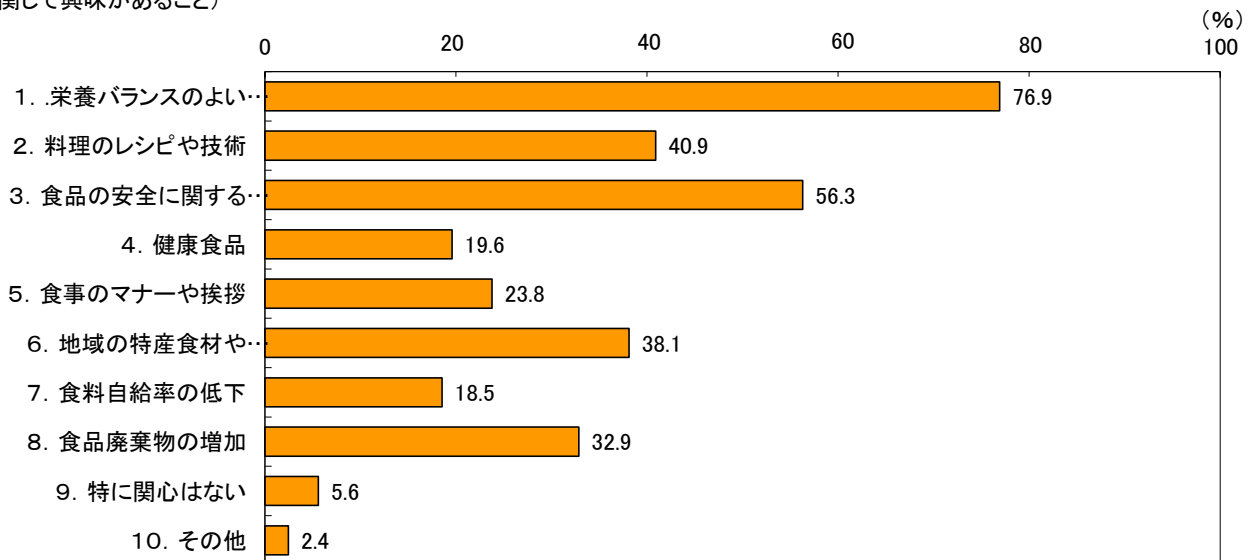
回答対象者 286人

※回答対象者に対する回答数の割合

〈Q7 10. その他意見〉

- ・肉を使わないでお野菜だけで食事が作れるメニュー
- ・有機栽培
- ・無農薬野菜販売場所
- ・美味しさ

(食に関して興味があること)



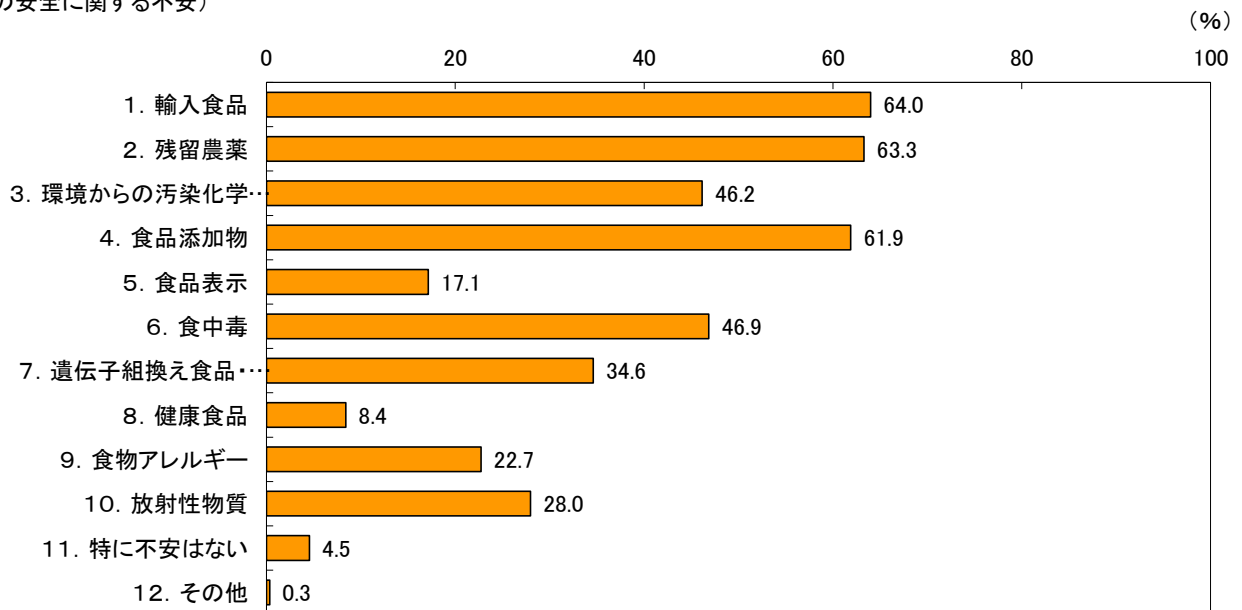
Q8 食の安全について、どのようなことに不安を感じますか。あてはまるものをすべて選んでください。

回答	回答数	割合※
1. 輸入食品	183	64.0 %
2. 残留農薬	181	63.3 %
3. 環境からの汚染化学物質	132	46.2 %
4. 食品添加物	177	61.9 %
5. 食品表示	49	17.1 %
6. 食中毒	134	46.9 %
7. 遺伝子組換え食品・ゲノム編集食品	99	34.6 %
8. 健康食品	24	8.4 %
9. 食物アレルギー	65	22.7 %
10. 放射性物質	80	28.0 %
11. 特に不安はない	13	4.5 %
12. その他	1	0.3 %

※回答対象者に対する回答数の割合
 〈Q8 12. その他意見〉
 ・産地偽装

回答対象者 286人

(食の安全に関する不安)



Q9 食に関する情報の入手方法について得たことがあるものをすべて選んでください。

回答	回答数	割合※
1. 料理レシピや作り方のインターネットサイト	212	74.1 %
2. テレビの料理番組	175	61.2 %
3. 本や雑誌	175	61.2 %
4. 県及び市・町が発行する情報誌(広報誌等)	72	25.2 %
5. 長崎県食品安全・消費生活課のホームページ	14	4.9 %
6. びわ太郎食育通信(長崎県食品安全・消費生活課発行)	2	0.7 %
7. その他	11	3.8 %

〈 7. その他意見(一部要約)〉

- ・新聞記事
- ・テレビ番組
- ・インターネットサイト
- ・農水省HP

回答対象者 286人

※回答対象者に対する回答数の割合

(情報入手先)

